

青葉区青少年の地域活動拠点
運営団体選定結果報告書

令和7年2月

1 選定方法

(1) 手順

- ①青葉区青少年の地域活動拠点運営団体の選定にあたり、「青葉区青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会」（以下、「検討会」という。）において、応募団体から提出された応募書類及びヒアリングを基に、各委員が各団体の意見書を作成しました。
- ②「青葉区青少年の地域活動拠点運営団体選定評価委員会」（以下、「評価委員会」という。）において、応募書類及び検討会各委員の意見書を参考に、選定評価基準に沿って、応募団体を評価しました。なお、評価は、各委員 140 点満点の計 700 点満点とし、最低基準を 420 点としました。
- ③評価委員会の評価を基に、運営団体を選定しました。

【主な選定スケジュール】

時期	手続き等
令和6年11月15日（金）～12月13日（金）	公募期間（申請の受付）
令和6年11月15日（金）～11月22日（金）	質問の受付
令和6年12月23日（月）	現地確認
令和7年1月15日（水）	検討会
令和7年1月20日（月）	評価委員会

(2) 検討会 委員（50音順）

阿久津 強 公益財団法人よこはまユース 総務課長
蒲田 聖子 主任児童委員連絡会 副代表
久保田 実 青葉区連合自治会長会 会長
越田 美弥子 青葉区青少年指導員連絡協議会 会長
福田 幸男 横浜国立大学 名誉教授

(3) 評価委員会 委員（役職）

青葉区福祉保健センター担当部長
こども青少年局青少年育成課長
青葉区総務課長
青葉区地域振興課長
青葉区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長

2 選定結果

(1) 応募団体

1団体から応募がありました。

(2) 選定結果

順位	団体名
第1位（運営団体に選定）	特定非営利活動法人まちと学校のみらい

3 得点 ※採点欄は、評価委員会委員5人全員の合算点です。

評価項目		配点	得点
基本方針	(1) 青少年育成施策に関する理解について	25	24
	(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	25	20
事業実施計画	(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動できる場の運営	100	96
	(2) 中・高校生世代の青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	100	84
	(3) 中・高校生世代を中心とする青少年を対象とした地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	100	92
	(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワークづくり及び人材育成	100	84
	(5) 主に中・高校生を対象とした学習支援	100	80
	(6) その他、青葉区の特性・課題を踏まえた事業の提案等	100	92
事業運営	(1) 収支計画について	25	15
	(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	25	18

合計点数	700	605
------	-----	-----

4 検討会における主な意見

これまでの実績と今後の事業計画書について、具体的でしっかりとした提案がなされてきました。あおばコミュニティ・テラスの第2ステージの提案を高く評価します。

多彩な専門家による運営体制が信頼でき、大学生サポーターの活用や地域・関係団体との連携等、ネットワークを活用することで、さらなる発展が見込まれます。

社会教育の視点を持ちつつ、青少年が次の社会の担い手として育つための経験を提供できる場になると感じました。社会課題に関心の薄い子や、課題のある子でも、何度も通ってくれることが望ましいですが、居場所の在り方も様々だと思います。今までの活動を踏まえ、子ども達一人ひとりの気持ちを大切に活動を期待します。

中・高校生を対象とした学習支援の取組の今後に期待します。学習を支援する大学生や大人へのアプローチ、子どもと関わった後も振り返りをしっかり行っていくという考えを評価します。